

児童学科 児童学専攻

a 幼稚園教諭1種免許状

(2024年度入学生から適用)

| 免許法施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数 | | |
|-------------------------------------|---|---|--|---|----|
| 科目 | | 単位数 | 本学開設科目(単位) | 最低修得単位数 | |
| 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 領域に関する専門的事項 | 健康 | 領域健康② | 2 | |
| | | 人間関係 | 領域人間関係② | 2 | |
| | | 環境 | 領域環境② | 2 | |
| | | 言葉 | 領域ことば② | 2 | |
| | | 表現 | 領域表現② | 2 | |
| | 領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | | | | — |
| | 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) | | | 保育内容健康の指導法② 保育内容人間関係の指導法② 保育内容環境の指導法② 保育内容ことばの指導法② 保育内容表現の指導法② 保育内容総論[2] 子どもと遊び② 子どもとからだ② | 16 |
| 計 | | 16 | | 26 | |
| 教科及び教職に関する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 教育原理A② | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) | 保育者論② | 2 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) | 教育経営論A② | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | 子ども理解の基礎② | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | 障がい児保育② | 2 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | 保育カリキュラム論② | 2 | |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 教育実践に関する科目 | 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) | 保育方法演習② | 2 | |
| | | 幼児理解の理論及び方法 | 子どもの理解と援助② | 2 | |
| | | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 | 保育カンファレンス演習[2] | 2 | |
| 大学が独自に設定する科目 | 教育実習 | 5 | 教育実習(幼稚園Ⅰ)[2] 教育実習(幼稚園Ⅱ)[2] 幼稚園実習特講[1] | 5 | |
| | 学校体験活動 | | | — | |
| | 教職実践演習 | 2 | 保育・教職実践演習[2] | 2 | |
| 大学が独自に設定する科目 | | 14 | 最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得 | — | |
| 合計 | | 51 | | 51 | |

注(1) 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

注(2) 「幼稚園実習特講」は、教育実習に係る事前及び事後の指導とし、2年次、4年次それぞれの実習の前後に行います。

注(3) 「保育・教職実践演習」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で4年後期に開講されます。

児童学科 児童教育専攻
a 小学校教諭1種免許状

(2024年度入学生から適用)

| 免許法施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数 | | |
|------------------------------|------------------------|---|---|---|----|
| 科目 | | 単位数 | 本学開設科目(単位) | 最低修得単位数 | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 国語(書写を含む。) | 国語科教育② | 2 | |
| | | 社会 | 社会科教育② | 2 | |
| | | 算数 | 算数科教育② | 2 | |
| | | 理科 | 理科教育② | 2 | |
| | | 生活 | 生活科教育② | 2 | |
| | | 音楽 | 音楽科教育② | 2 | |
| | | 図画工作 | 図工科教育② | 2 | |
| | | 家庭 | 家庭科教育② | 2 | |
| | | 体育 | 体育科教育② | 2 | |
| | | 外国語 | 小学校外国語教育② | 2 | |
| | | 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | | | |
| | 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) | | | 国語科指導法[2] 社会科指導法[2] 算数科指導法[2] 理科指導法[2] 生活科指導法[2] 音楽科指導法[2] 図工科指導法[2] 家庭科指導法[2] 体育科指導法[2] 小学校外国語指導法[2] | 20 |
| | 計 | | 30 | | 40 |
| 教科及び教職に関する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 教育原理B② | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) | 教師論② | 2 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) | 教育経営論B② | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | 教育心理学② | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | 特別支援教育② | 2 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | 教育課程論② | 2 | |
| 目及び生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法 | 道徳の理論及び指導法 | 道徳教育論② | 2 | |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | 総合的な学習の時間の学びと指導法② | 2 | |
| | | 特別活動の指導法 | 特別活動論② | 2 | |
| | | 教育の方法及び技術 | 教育方法論② | 2 | |
| | | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 | 子どもの学びとICT[2] | 2 | |
| | | 生徒指導の理論及び方法 | 学級経営と集団づくり(2) 生徒・進路指導の理論及び方法② | 2 | |
| | | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | | |
| | | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 | 教育相談② | 2 | |
| 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 5 | 教育実習(小学校)(4) 小学校実習特講[1] | 5 | |
| | 学校体験活動 | | | - | |
| | 教職実践演習 | 2 | 教職実践演習(小・中)[2] | 2 | |
| 大学が独自に設定する科目 | | 2 | 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得 小学校総合演習Ⅰ(2) 小学校総合演習Ⅱ(2) | - | |
| 合計 | | 59 | | 73 | |

注(1) 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

注(2) 「小学校実習特講」は、教育実習に係る事前及び事後の指導とし、4年次の実習の前後に行います。

注(3) 「教職実践演習(小学校)」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

b 中学校教諭1種免許状「理科」

(2024年度入学生から適用)

| 免許法施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位 | | |
|------------------------------|---------------------------------------|---|---|--|----|
| 科目 | | 単位数 | 本学開設科目(単位) | 最低修得単位数 | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 物理学 | 1 | 物理の基礎② 科学する心(エネルギー編)〈2〉 生活と物理[2] | 2 |
| | | 化学 | 1 | 化学の基礎② 科学する心(粒子編)〈2〉 生活と化学[2] | 2 |
| | | 生物学 | 1 | 生物の基礎② 科学する心(生命編)〈2〉 生物と環境[2] | 2 |
| | | 地学 | 1 | 地学の基礎② 科学する心(地球編)〈2〉 地球と環境[2] | 2 |
| | | 物理学実験・化学実験 ・生物学実験・地学実験 | 4 | 物理学基礎実験I② 物理学基礎実験II② 化学基礎実験I② 化学基礎実験II② 生物学基礎実験I② 生物学基礎実験II② 地学基礎実験I② 地学基礎実験II② | 12 |
| | 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 | | | | - |
| | 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) | | 8 | 理科教育法Ⅰ[2] 理科教育法Ⅱ[2] 理科教育法Ⅲ[2] 理科教育法Ⅳ[2] | 8 |
| | | | | ※8単位は、教科に関する専門的事項の 選択科目(実験科目は除く) 16単位から選択 | 8 |
| 計 | | 28 | | 36 | |
| 教科及び教職に関する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 10 | 教育原理B② | 2 |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) | | 教師論② | 2 |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) | | 教育経営論B② | 2 |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 教育心理学② | 2 |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 特別支援教育② | 2 |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | | 教育課程論② | 2 |
| | | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法 | | 道徳教育論② | 2 |
| 目及び生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法 | 10 | 総合的な学習の時間の学びと指導法② | 2 | |
| | 特別活動の指導法 | | 特別活動要説[2] | 2 | |
| | 教育の方法及び技術 | | 教育方法論② | 2 | |
| | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 | | 子どもの学びとICT[2] | 2 | |
| | 生徒指導の理論及び方法 | | 学級経営と集団づくり(2) 生徒・進路指導の理論及び方法② | 2 | |
| | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | 教育相談② | 2 | |
| | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 | | | | |
| | 教育実習 | | 5 | 中学校実習指導[1] 教育実習(中学校)[4] | 5 |
| | 学校体験活動 | | | | |
| | 教職実践演習 | | | 教職実践演習(小・中)[2] | |
| 大学が独自に設定する科目 | | 4 | 子どもの学びと自然[2] 野外活動支援演習(2) サイエンス・エドゥケーター論[2] 子どもと科学する心② 児童学基礎体験演習Ⅰ② 児童学基礎体験演習Ⅱ② | 10 | |
| 合計 | | 59 | | 79 | |

注(1) 本学開講科目(単位)のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程必修者の単位です。

注(2) 本学開講科目(単位)のうち、<>・【】・{}の数字は、括弧種ごとに2科目以上修得すべき選択必修科目です。

注(3) 「教職実践演習(小・中)」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。